

令和3年4月10日

突哨山昆虫調査採集許可願

旭川市長 様

旭川市東鷹栖 1 条 4 丁目 638-54

松本英明

(所属：北海道昆虫同好会 評議員)

旭川市東鷹栖地域の突哨山における昆虫類（甲虫）
の調査に係る採集許可願について

旭川市東鷹栖の突哨山は、入山口に置いてあります「突哨山ガイドマップ」から昆虫採集の禁止を知ったところですが、本人の個人的な研究報告として生まれ育った地元であります東鷹栖を題材とし、東鷹栖地域に生息する昆虫類（甲虫）をまとめ、北海道昆虫同好会の会誌に発表することを考えており、その発表のためには突哨山地区での採集データが許可を得ている必要があり、その調査の際に種を確定（同定）するために必要な最低限数の昆虫類（甲虫）の捕獲採集および調査の許可をいただきたくお願い致します。

調査対象地区：旭川市行政区域内の突哨山地区。

* 旭川市東鷹栖地域の調査なので突哨山の一部となる比布町行政区域は調査対象地としない。

扇の沢口左横の私有地である里山部(代表 清水省吾氏)については代表と直接話し合いの上で許可を受けており、立ち入る際はその都度代表に電話連絡することとしている。

許可希望機関：2021年5月1日から10月31日までの6ヶ月間。

* 春期や秋期にしか出現しない種がいるため最低でもこの期間が必要。

対象捕獲種・数：昆虫類コウチュウ目の種に限定し同定に必要な最低限数とする。（3ペア程度）

* 旭川市の蝶に選定されているヒメギフチョウが含まれるチョウ目を初め、トンボ目など飛翔力が強く採集の目立つ仲間は対象外なので一般の入山者に配慮し、調査許可は受けていても捕虫網(虫取りアミ)は使用せず、一般の入山者とすれちがう際は調査を中断し、なるべく目立たないよう調査採集することを原則とする。

許可対象者：松本英明と調査協力同行者1名。

* ヒグマとの遭遇を極力避け入山は日中に限り熊鈴を必ず装着し、なるべく単独行動にならないように同行者確保のため調査協力者は不特定の1名とし、松本英明の責任のもと実施する。

夜間のライトトラップ法は入山口駐車場などヒグマの危険の少ない場所にて2名で実施する。

調査内容と目的：営利目的ではなく、あくまで個人の研究目的であり当該地域の甲虫相を解明し、少しでも旭川市に貢献したいと考えている。

* 発表仮題名「旭川市東鷹栖地域の甲虫相」として報告後、別刷を旭川市の博物館や科学館に置いてもらい市民に活用していただくよう、旭川市土木部公園みどり課へ数冊をお届けし、寄贈させていただく予定としています。

本人紹介

私は個人的に北海道の昆虫類（甲虫）を50年以上に渡り研究している者です。古いことではありますが、旭川市民生局環境部環境課により1980年～1990年に実施された当時旭川市の自然保護調査において無脊椎動物部門の調査委員で北海道教育大学旭川分校の佐藤正三教授が責任者のもと調査協力者の1人として昆虫類（甲虫）の担当者となって数年に渡り自然保護調査報告書の調査結果やリスト作成に携わり、1991年に「旭川の動・植物」―目録・解説―自然保護調査報告書総集編が出され、これを最後に御市の大がかりな調査も終了となりました。その当時としてはそれなりの成果を上げたものでしたが、現在では詳細データもなく学術的文献としては引用価値の低いものとなっています。また、1991年当時の記録種は旭川市全域でもコウチュウ目（鞘翅目）は737種しか挙がっていませんでした。しかし、現在私が調査中の東鷹栖地域だけで今のところ1,130種を超えており、このことから調査レベルが格段に向上していることがお分かり頂けると思います。また、1980年代と比較して温暖化や開発により環境が急変し、昆虫類の生態系もそれに伴って大きく変化しており、北方種で見られなくなった種がいる一方で、外来種を初め国内でも南方種の北上が進み一昔前までは全く見られなかった種なのに現在はびこってしまっている種も多くいて、これらの現状なども報告には考察に挙げたいと考えています。これには許可をいただくことが報告には必要であり、御市が行なった調査の協力をした実績からもこの許可願における承認のほどをよろしく願いいたします。

松本英明（1954年3月生）

旭川市土木部公園みどり課
担当者 様

先に電話にてお伺いした際、許可願については特に様式がないとのことで自分なりに作成してみましたが、不備があって直しが必要でしたらご連絡ください。よろしく願いいたします。

連絡先

自宅電話番号 57-2824

平日でもほとんど自宅にいると思いますが、出ない時は携帯電話でも結構です。

携帯電話番号 090-2693-8463

コロナ渦で直接お願いに上がれず、封書にて失礼いたします。

旭川市東鷹栖1条4丁目638-55

松本英明